

平成 26 年 1 月 14 日

第 1 回倉吉市議会臨時会議案提案理由説明

倉吉市長

新年あけましておめでとうございます。

今年は、比較的穏やかな年明けとなりました。市議会議員の皆様、そして市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市制施行 60 周年の年であり、記念式典等の記念行事を行いました。60 周年がこれからのまちづくりについて考えるいい機会になればと思っています。

近年、全国各地で大規模な災害が発生しています。昨年も幸い本市では人命に関わる大きな被害はありませんでしたが、近隣の島根県、山口県をはじめ、京都府や伊豆大島などで大雨などによる被害がありました。市では昨年 4 月に新しい防災行政無線の運用を開始し、市内全世帯に戸別受信機を配布しましたが、平時からの災害対策の重要性を改めて実感したところです。

念願の高規格道路の整備も進んできました。6 月には北条湯原道路が倉吉西インターチェンジまで開通し、年末には、山陰道の中山名和間が開通しました。観光や産業振興への効果を期待するところです。

本市が抱える課題の中でも人口減少対策は最も重要なものの一つです。若者の定住をいかに進めていくか。そのためには、雇用の場の確保が重要であり、その意味で、昨年、企業誘致が新たに 2 件の進出が決定したことは喜ばしいことであると考えております。

国政では、安倍政権が誕生し 1 年が経ちました。今年 4 月からは消費税が増税となります。経済対策として、5.5 兆円規模の補正予算の編成が進められているところであり、一日も早い成立とその効果による景気回復を願うものであります。

私ごとになりますが、市長に就任して 4 年が経過しようとしています。こ

の4年間、防災、企業誘致、若者の定住、子育て支援、交流人口の拡大などに努力をしてまいりました。

しかしながら、市政はまだまだ多くの課題を抱えています。人口減少、少子高齢化、厳しい経済・雇用環境、全国各地で発生する災害、教育・人権問題などにしっかりと対処していかなければなりません。そのためにも、第11次総合計画「くらしよしふるさとビジョン(愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉)」の着実な推進を図っていかなければならないと考えています。

市民の皆様とともに、みんなで知恵を出して、倉吉の良さをみんなで共有できる元気な倉吉をつくるために、頑張っていきたいと思っております。

議員各位のご支援、ご協力をお願いいたします。

それでは、今議会に提案いたしました議案につきまして、その概要をご説明申し上げます。

今議会に提案いたしました議案は、一般案件2件であります。

議案第1号 市道の路線の廃止 及び 議案第2号 市道の路線の認定についてであります。

福守町地内の天神川河川防災ステーションの建設による周辺道路の整備に伴い、市道国府福守町線の終点に変更が生じることから、現市道を整理して新路線として認定するため、路線の廃止及び認定について、本市議会の議決を求めるものであります。

以上、今回提案いたしました議案につきまして、その概要をご説明いたしました。よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。